



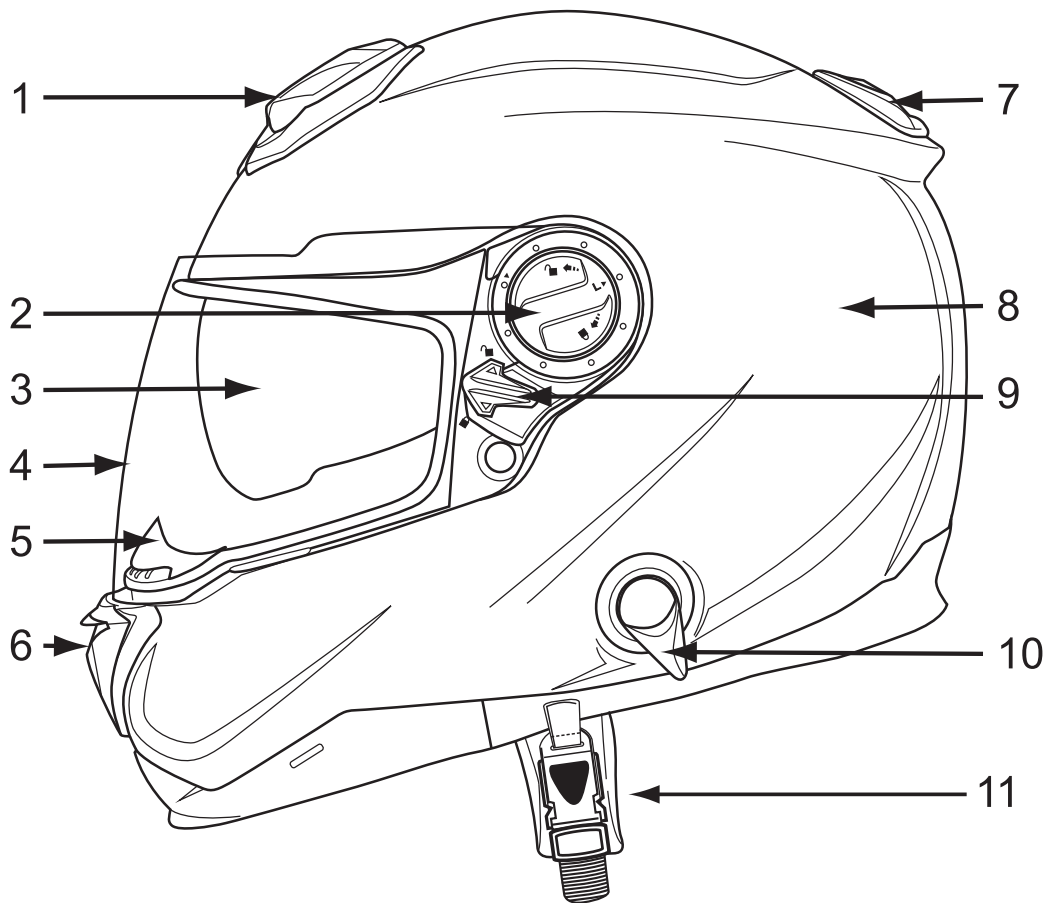
# BullRaiderII

## 取扱説明書

WEB版

この取扱説明書は、ご使用になる前に必ず最後までお読みください。また、お読みの後は大切に保管くださいますようお願い致します。

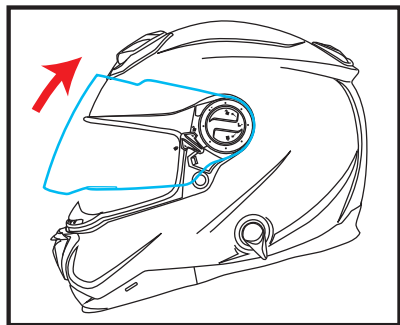
# BullRaider:



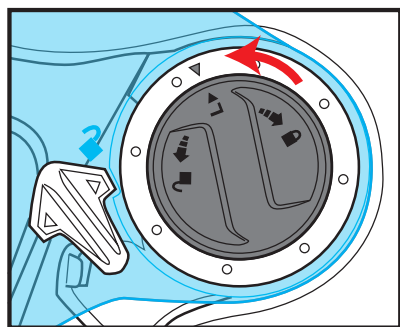
1. ベンチレーション
2. ピボットハンドル
3. インナーシールド
4. シールド
5. ブレスガード
6. チンエアインテーク

7. センターアウトレットベント
8. シェル
9. シールドロックハンドル
10. インナーシールドハンドル
11. ワンタッチ式あご紐ベルト

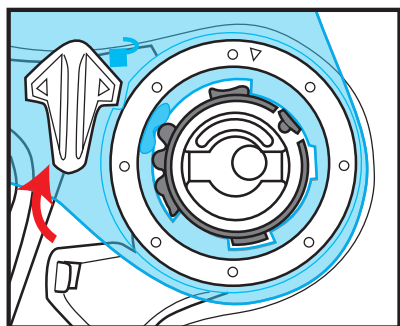
# シールドの取外し方法：



1. 3段階で全開となるシールドを1段階開けロックを解除してください。  
※シールドロックを解除しないと操作はできませんのでご注意ください。

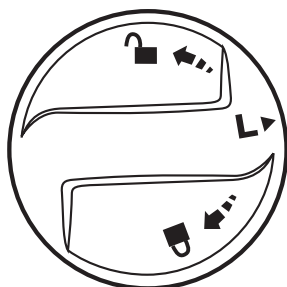


2. 左図のように、ピボットハンドルを鍵マークオープンの方(赤い矢印の方向)へ回してください。

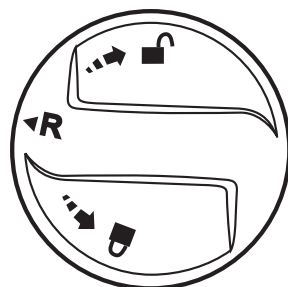


3. ピボットハンドルを取外し、シールドを左図矢印の方向へ全開にすることで取外すことができます。

## ピボットハンドルの説明：

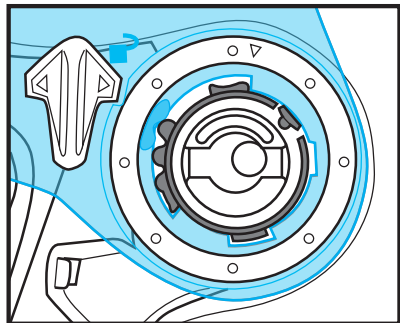


左側

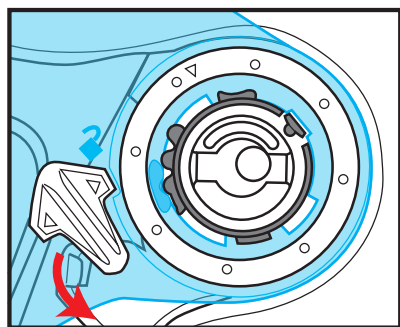


右側

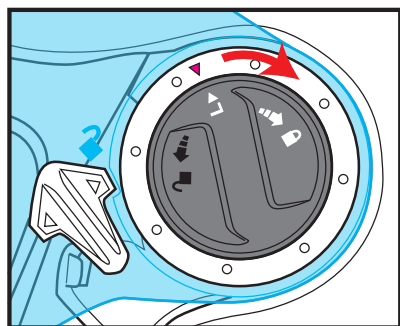
## シールドの装着方法：



1. 左図を参照し、ピボットベースのギアとシールドのピボット部の形状を合わせて軽く押し付けます。



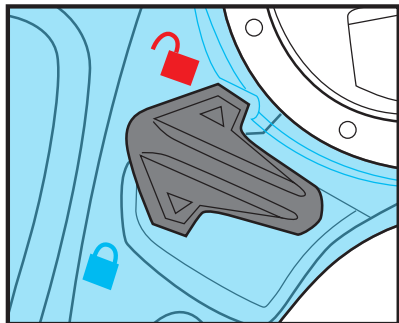
2. 押し付けながら、左図矢印の方向にシールドを下げ、ピボットベースのギアの下側にシールドをスライドさせます。



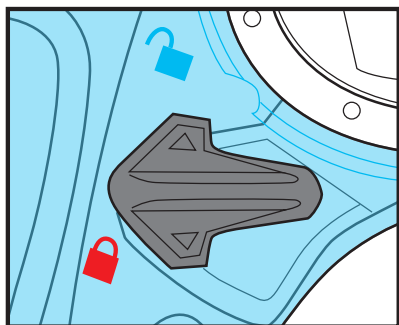
3. R右側、L左側のピボットハンドルを取り付け、左図のように、ピボットハンドルを鍵マークロックの方向(赤い矢印の方向)へ回し固定します。シールドの全閉、全開を数回繰り返して、ピボットハンドルがしっかりロックされていることを確認、装着作業は完了です。

注意：ヘルメットに付いている付属品(シールド等)の欠陥によって発生した人身事故は、SGマークの補償制度の対象外です。

## シールドロックの方法:



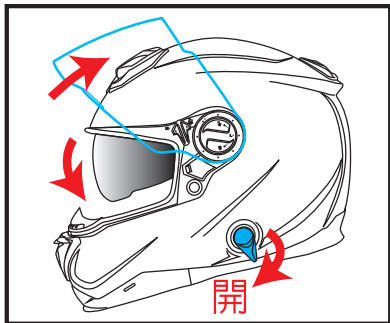
1. シールドロックレバーを、左図のように上に動かし、ロックを解除します。



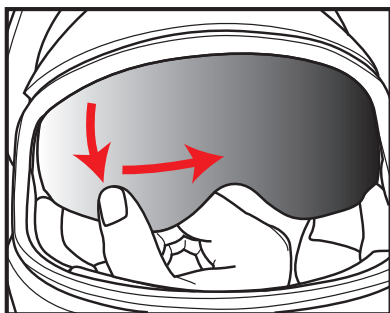
2. シールドロックレバーを、左図のように下に動かし、ロックを解除します。操作後は、シールドロックが働いているか必ずご確認ください。

※シールドロック操作は、シールドが全閉の状態でのみ有効です。

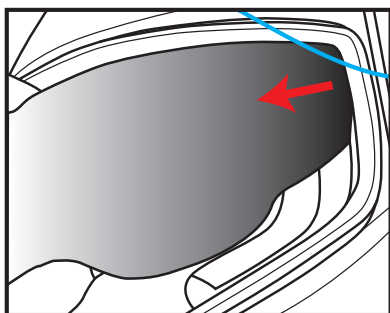
# インナーシールドの取外し方法：



1. シールドを全開します。次に、インナーシールドハンドルをOpenの方向に操作し、インナーシールドを全閉にします。

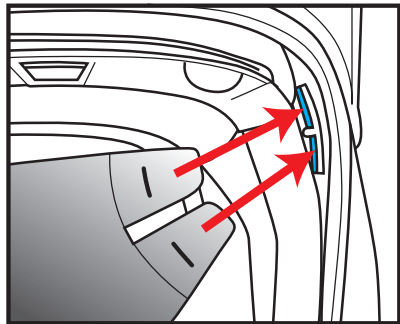


2. 左図矢印の方向に力を加え、インナーシールドを右端から取り外します。

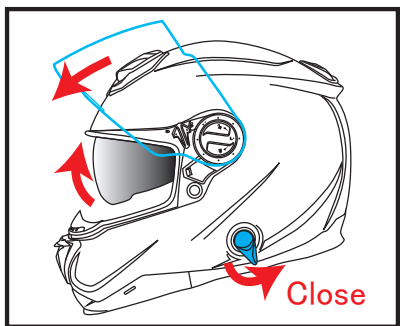


3. 最後に、右図矢印の方向に力を加え、インナーシールドを取り外します。

## インナーシールドの装着方法：



1. インナーシールド左右の端を、インナーシールド受け部の穴に左図矢印の方向で差し込みます。

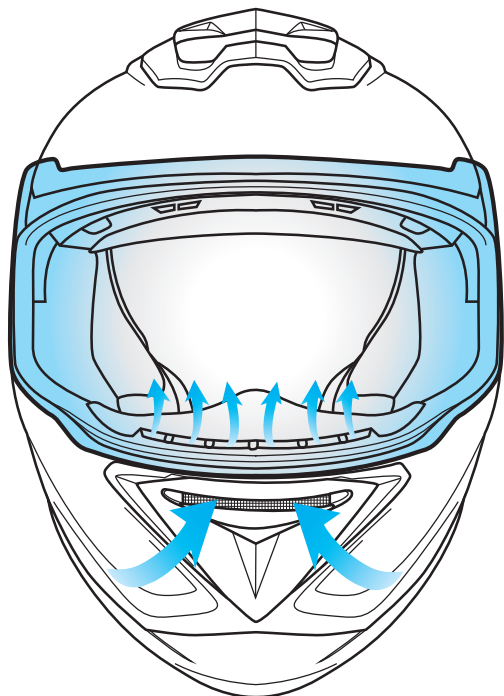


2. インナーシールドハンドルを左図Closeの方向に操作し、インナーシールドが抵抗なく収納されるか確認します。

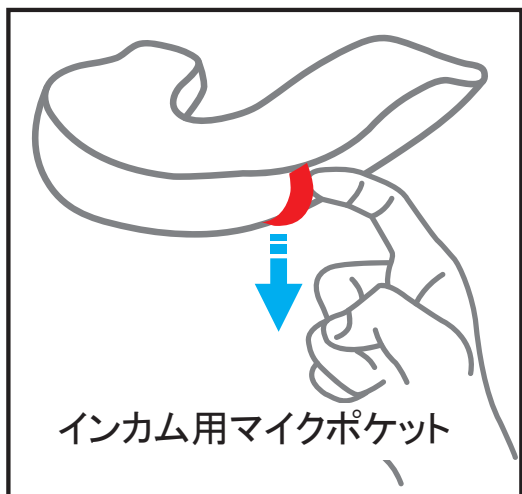
※差し込みが不十分な場合、インナーシールドが擦れて抵抗になる恐れがありますのでご注意ください。

注意：インナーシールド（サンシェード）がある乗車用ヘルメットについては、夜間やトンネルなど暗い場所で使用すると視力が低下するので、絶対に使用しないでください。

## その他機能説明:



※チンエアインテークより空気を流入させ、シールド内側に発生する曇りを除去することが可能です。



※インカム用のマイクをチークパッド内にセットアップできるポケットを増設しました。

ワイヤータイプ、配線タイプのマイクをすっきり内装内に収めるセットアップが可能です。



## ■ ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、あご紐の改造などは絶対にしないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり、非常に危険です。

## ■ ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯(50℃以上)や、塩水などは絶対に使用しないでください。

## ■ ヘルメットを塗り替える際のご注意

シェル及びEPSライナー(衝撃吸収ライナー)は、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合がございます。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。ヘルメットを塗り替える必要がある場合は、専門の業者へご依頼ください。

## ■ ヘルメットは大切にお取扱ってください。

ヘルメットを投げたり、上に座ったりなどしないでください。その度に衝撃吸収性が低下し、大変危険です。万が一に備え、大切に扱ってください。また、乗車時での頭を保護する目的以外のご使用はお止めください。

## ■ ヘルメットの保管について

ヘルメットを直射日光の当たる車の中や、暖房機の側など、高温(50℃以上)の場所に長時間放置しないでください。材質が変質する恐れがあり、性能が低下致します。

## ■ シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときは、柔らかい布を使い、薄めた中性洗剤で汚れを拭き取り、きれいな水ですすいだ布で拭いてください。

ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

このヘルメットには、PSCマーク又はSGマークが貼付されております。このマークは、消費生活用製品安全法により国が定めた安全基準及び、製品安全協会が定めたSG基準に適合するヘルメットであることを示しています。

SGマークが貼付されたヘルメットで、万一ヘルメットの欠陥により人身事故が発生した場合、SGマークの被害者救済制度による損害賠償の対象となります。但し、プロオートバイレースやサーカスなどの特殊な使い方をしている場合は対象外となります。

## 購入後3年間有効

ヘルメットは、使用に伴い経年変化によって劣化し、新品の時と同じ性能を維持できなくなることがございます。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年間」の有効期限を定めております。PSCマーク又はSGマークが貼付されております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際など十分な保護性能を発揮しない恐れがございます。

SGマークの詳細につきましては、製品安全協会までお問合せください。

一般財団法人 製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2F  
TEL:03-5808-3300

輸入・販売元 株式会社ゴッドブリンク

〒470-0136 愛知県日進市竹の山1丁目618-4 TEL:0561-74-7067

<https://www.godblinc.com>